



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: いとばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

12/25 (火)

テーマ: 『再入会のおかげ』

出席 19社20名
(美浜16、他会0、非会員4)

講師: 千葉県倫理法人会 研修委員長 寺嶋 憲夫 氏



Norio Terajima

「敵に負けても、繰り返し続ける」。写真は、寺嶋氏が7年かけてゼロにした、手形リストだ。

ちきしょう、騙された!? 感謝している

寺嶋氏は、柏市の農家の5人兄弟の次男として、昭和22年に生まれた。昭和43年に大学を卒業後、新聞記者として5年勤めた。「給料も良く、とても楽しい会社勤めだったため、元々商売をする気はなかった」という。

だが、当時市議会議員であり不動産会社の経営者でもある親にとって、記者は印象が悪くなかったのか、「お金を出してあげるから、店を経営しないか?」と誘われた。26歳の時だった。

店を経営するというだけで、楽しそうだ。それに社長になれる。2つ返事で記者を辞め、1,300万円をかけて、レディースカジュアル店を作った。

ところがオープンと同時に、親が言い切る。「1,300万円は国民金融公庫からあなた名義で借りた。これを返せば、あなたは人の上に立つ経営者の資格がある。もしも途中で投げ出すなら、骨は拾ってやるから潔く勤めなさい」と。今では大変感謝しているが、当時は「ちきしょう、だまされた」と思った。全額借金スタートなんて、大変になることは明らかだ。事実、そうだった。

後ろを全て塞いで努力すれば、成功する。成功すれば隙ができる

商品が売れない。親に借金を頼んでも、「もうやめるかい?」と貸してくれない。退路は絶たれた。本当に困った末、商品を詰めた段ボールを担いで電車に乗り、街頭セールをして各駅を回った。28~29才の頃だった。

すると商品が売れ始めた。店舗はどんどん増え、チェーン展開し、トントン拍子に急成長した。寺嶋氏は気付いた。「後ろを全て塞いで、仕事を真面目に努力して努力して努力すれば、会社というものは儲かるようになっていくんだ。当たり前だが」と。さらに追い風が吹く。バブル景気の到来だ。人は成功すると、どうなるのか。

平成3年、不動産会社を設立し、土地・株・ゴルフ会員権を買って転がした。手付金を払った1週間後には、倍の金額で契約キャンセルを頼まれるという急激な地価高騰。1週間で4千万円が、度々手に入った。「もう商売じゃなかった」という。成功して隙ができ、有頂天になった。倫理に入会したが、完全に付き合いだ。平成6年、デフレで苦しくなり即退会。膨れた借金に、少しずつ悪化する店の業績が残った。

MSは決心を成就させるための道場。不良な人ほど感謝する

売上が2億から1.2億にまで下がった時、再び倫理に誘われた。「6ヶ月だけでいいよ。その代わりに6ヶ月間は、絶対にMSを休まないでくれ。それで良くなかったら、6万円払うから」という。MSで役員を鍛え直そうと思い、再入会した。ある時、3役研修会に代理で出て、伊澤氏の、実践部で100日皆勤して自分を鍛え直した話で気が付いた。「今は午前3時まで帰宅しない日々。そうか、MSが週1回だから辛いんだ」。

実践部に入った。最初は寝ないで行ったが、50~70日目には体の軽さを感じた。病氣もしなくなった。100日皆勤を2回達成した。「これを解決しなければ生きていけないもの」、それは寺嶋氏にとっては手形だった。だが、「やるぞ!」という決心が、週1回のMSでは揺らぐ。一番の敵は自分の中の「まあいいか」という心だ。MSは決心を成就させるための道場。度々敵に負けたが、7年繰り返し続いたら手形は消えた。運も回ってくるようになったし、提携などの話もどんどん巡り回ってくる。寺嶋氏は、「我慢して、勉強してやっていると、いいことあるんですよ」と感情を込める。

また寺嶋氏は、「MSから帰る時の気持ちの清々しさが大好き。これもあれもしよう」と明るく前向きになってくる。事業に必要なものは、これだけなんです、さらに「倫理は不良だった人が更生する機関。そういう人をこそ、(入会しなくていいから1度MSにと)誘ってください」という。それは、「なぜなら私が今、とても誘ってくれた人に感謝・感激しているからです」という。「この役目が皆さんです。ぜひ寒村会長を下支えして、きちっとした千葉県にしてください」と講話を結んでくれた。

次回 第860回MS! 1/8 (火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)

テーマ: 『倫理で感性を磨く』

講師: 東葛北地区長 清水 浩旦 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく